

平成 27 年度 富士まかど ショートステイ

事業報告書

1. 運営状況の概要

積極的に新規の受け入れに努め、5月の利用率は62.3%となった。6月からは、感染予防対策を強化しサービスの提供に努めたが、ご利用者の入院等により利用率低下となる。

また、1月より職員配置数の減少に伴い月平均42.8%の実績となる。

2. 事業計画実施状況

(1) サービスの質の確保・向上

サービスの内容について、利用者・家族・担当ケアマネージャーと話し合い、居宅ケアプランに沿ったケアに努めた。

利用者や家族からのサービスに関する苦情や要望に対し迅速で適切な対応を行い、満足度の高いサービスの提供に努めた。

送迎時、家族とのコミュニケーションを充実させ信頼関係を築き、慣れた生活環境づくりに努めた。

レクリエーションや機能訓練を充実させ、利用者の心身機能の維持に努めた。

(2) 稼働率の確保及び維持

満足度の高いサービスを提供するため、利用者家族・担当ケアマネージャー・他事業所と連携に努めた。

また、他事業所への出向き利用者の利用状況や確認、ケアに対するアドバイス等を求め、情報収集に努めた。

居宅介護支援事業所へ可能な限り訪問・実績報告等を行い、利用者の状況確認等の情報を共有することに努めた。居宅介護支援事業所とのコミュニケーションを深め定期利用に繋がるよう、特に送迎時間について柔軟な対応に努めた。

(3) 職員資質の向上

各委員会等の企画した内部研修への参加に努めた。中でも、積極的に医療知識・技術の向上につながる研修に参加し、幅広い利用者様の状態を受け入れることができた。

(4) 各種地域関係団体との連携強化

特養と合同で実施した。